



石部中学校 校報
湖南省宝来坂四丁目3-1
TEL:77-3781 FAX:77-6802
<http://www.edu.konan.jp/ishibe-jh/>

子育てあれこれ

あまりにも複雑になってしまった現代社会で、様々な価値が氾濫し、何が正しくて何が間違いかを見分けることが極めて難しくなっているように思います。テレビ等で色々な人が色々な立場で色々なことを言っています。「それもそうか。」と思う反面、「少しおかしいのでは・・・。」と思うこともしばしばあります。

物の見方には、「不易と流行」があると思います。流行とは、時代や世相を反映して、その時々が変わっていくような物の見方(価値)のことです。「不易」とは、いかに時代が変わろうとも変わることのない物の見方(価値)のことです。現代のように激しく変化する社会であるからこそ、決して変わらない、不易の価値を大切にしていきたいと思います。

このような観点に立って、子どもとの関わり方で大切だと思うことをあげてみます。

(1) 聞き役に徹する構えを持つ。

明治20年ごろの小学校教科書「尋常小学校読本」に次のようなくだりがあります。

「口は一つに、耳二つ。されば いふこと 少なくて、多く きくこそ よかりけれ。」

「口は一つに、目は二つ。されば 多くをみて 知りて、えき なき はなし せぬぞ よき。」

この古い文章は、「言うこと」よりも、しっかりと人の話を聞き、しっかりと真実を見極めることの大切さをうたっています。

子どもの話をオウム返しでよいので、よく聞いてやってください。また、子どもの様子をしっかりと見つけてやってください。そして、日常のことをお説教の材料にしないで、親の意見はそっと出してやってください。

(2) 百の「勉強しなさい」より、一つの実行。

子どもは親の愛情を感じて勉強するのだと思います。コーヒーか紅茶を出してやる、食事に気を配る、テレビなどを見る時間を家族も減らしていくなど、何でもよいと思います。一つ子どものために実行することの方が大切だと思います。

(3) 自分の子どもを悪くする一番の早道は、先生の悪口と学校の悪口を言うことです。

逆説的な言い方をしましたが、まだしっかりした考えを持っていない者に、批判的な見方や目をつけると、成長は止まります。批判的に見ている人からいくらよいことを言われても素直に心に入っていきません。素直さが根本です。素直な心を持っていると、学んだものが真っ直ぐに入っていきます。

(4) 上手な知恵のある叱り方・ほめ方をしましょう。

叱り方はなかなか難しいものです。くどくどした叱り方は、素直に子どもの心に入っていきません。真剣であっさりとした叱り方が大切です。いやみも厳禁です。また、以前のことを持ち出して叱るのもダメです。今の姿を叱ってください。また、ほめるときも、真っ直ぐに我が子の成長を喜ぶほめ方をしてください。根本は、にこやかな笑顔です。笑顔のある親の元では非行はありません。いろいろとあるでしょうが、そこを越えて笑顔で接してください。

山本五十六氏の言葉に「やってみせ 言って聞かせて させてみせ ほめてやらねば 人は動かじ」というのがありますが、基本は「ほめること」だと思います。

(5) 過剰な期待は禁物です。

「子どもは宝」とか「子どもは授かり物」と言われます。親が子どもに期待するのは当然ですが、その期待が過剰になってはいけないと思います。時には子どもは親の過剰な期待を一身に背負って、苦しんでいることもあります。親の期待に応えようと無理にがんばり苦しんでいないかどうか、いつも気にかけるようにしてください。

また、「家の子に限って・・・。」ということもあります。盲目的になっていることも多いものです。時には外側から冷静になって子どもを見ることも必要です。

逆に、どこまでも我が子を信じることも大切です。

この文章は、石丸淳氏の本を参考にさせていただきました。

学校評価について

昨年11月にPTA役員さんに本校の学校評価をしていただきました（回答者数50名）。大変お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。その中で、顕著な内容についてお知らせしたいと思います。

全体的には、昨年度と比べよい評価をいただきました。これも保護者の皆様の本校教育へのご理解ご協力のおかげと感謝しております。本校教職員も課題解決に向け、力を合わせて努力していますが、まだまだ解決していかなければならない課題が山積しております。本校をなお一層すばらしい学校にしていくために、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

評価の内容の特徴を箇条書きで書きますと、次のようになります。

- （１）肯定的な評価「そう思う、どちらかというと思う」が60%以上あった項目。

生徒は部活動などに積極的に参加していると思われませんか。

教職員は一人ひとりの生徒を大切にした指導をしていると思われませんか。

本校は環境美化・環境整備に積極的に取り組んでいると思われませんか。

本校は、交通安全や事故防止等に積極的に取り組んでいると思われませんか。

本校は安心・安全に関する指導に積極的に取り組んでいると思われませんか。

本校の施設・設備は、学習環境として満足できるものと思われませんか。

本校は、保護者や地域の方に文化祭や体育祭などの学校行事への参加を積極的に働きかけていると思われませんか。

学校は家庭や地域と連携・協力して教育を進めようとする雰囲気があると思われませんか。

本校は地域に開かれた学校づくりに努めていると思われませんか。

- （２）否定的な評価「そう思わない、どちらかというと思わない」が60%以上あった項目。

本校は全体としては、雰囲気も良く、落ち着いていると思われませんか。

生徒は、意欲的に学習に取り組んでいると思われませんか。

生徒は、社会や学校のきまりを守って生活していると思われませんか。

- （３）昨年度よりも肯定的な評価が20%以上上昇した項目。

本校の教育目標や教育方針は、保護者や地域の方に理解されていると思われませんか。

生徒は、社会や学校のきまりを守って生活していると思われませんか。

教職員は一人ひとりの生徒を大切にした指導をしていると思われませんか。

教職員は生活指導面において、毅然とした指導をしていると思われませんか。

本校は環境美化・環境整備に積極的に取り組んでいると思われませんか。

本校は、交通安全や事故防止等に積極的に取り組んでいると思われませんか。

学校は、相談したいときに訪れやすい雰囲気があると思われませんか。

学校は家庭や地域と連携・協力して教育を進めようとする雰囲気があると思われませんか。

本校は地域に開かれた学校づくりに努めていると思われませんか。

特に、「教職員は一人ひとりの生徒を大切にした指導をしていると思われませんか。」という質問に対して、70%以上の保護者の方が肯定的にとらえていただいており、本年度の本校の取り組みに成果があったものと考えております。また、「教職員は生活指導面において、毅然とした指導をしていると思われませんか。」という問いに対しては、肯定的な評価と否定的な評価が半々でしたが、昨年度に比べると肯定的な評価が4倍以上になっております。

しかし、「本校は全体としては、雰囲気も良く、落ち着いていると思われませんか。」「生徒は、意欲的に学習に取り組んでいると思われませんか。」「生徒は、社会や学校のきまりを守って生活していると思われませんか。」という質問に対しては、否定的な評価が多く、改善しなければならない大きな課題と考えております。

本校の取り組みとして、まだまだ不十分なところや考えていかなければならないところがあり、今後一層「生徒が安心して生活できる学校づくり」をめざして職員一同一丸となって取り組みたいと考えておりますので、今後とも、本校教育活動に多くのご理解・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。